ニュースがわかる、福音が見える
クリスチャン新聞
THE CHRISTIAN
2023 11/12
編集部 [e-mail] cs-edit@wipm.or.jp [tel] 03-5341-6957 [fax] 03-5341-6921
購読課 [e-mail] cs-read@wipm.or.jp [tel] 03-5623-7925 [fax] 03-5623-7926
発行・いのちのことば社 ©クリスチャン新聞 〒164-0001 東京都中野区中野2-1-5
2023年11月12日発行（毎週日曜日発行） 通巻第2688号（1960年12月10日第3種郵便物認可）
1部235円

LIGHTプロジェクト 仕事と信仰セミナー

"「主婦」も召された仕事と思えた"

「LIGHTプロジェクト 信仰と仕事ミニストリー」（ディレクター・サックス知子）の「信仰と仕事セミナー」が9月9日、オンラインで開催された。今回のテーマは「会社員、主婦・主夫も神に召された仕事」。当日はLIGHTプロジェクトの「信仰と仕事コース」を受講したスピーカーの話を聞き、続いて各グループでディスカッションした。

◇ ◆ ◇

岡田さん

安光さん

最初は岡田雄太さん（ニューホープ千葉会員）。IT業界で働く岡田さんは「最初は楽しいと思ったが、何のために仕事をしているのか分からなくなった。所属会社は最下層の位置にあり、将来への希望も感じられず、誇りに思えない仕事だと思った」と言う。

そんな中、「信仰と仕事コース」を受講。気づかされたことは、(1)仕事も神様への礼拝で、働くことは奉仕と同様に神様に喜ばれる、(2)今の会社で仕事をすることは決して偶然でなく、神の召しがあった、(3)仕事と神の栄光はかけ離れたものではなく、仕事そのものが神の栄光である、など。「神様がどんな方か分かると、やりたくない仕事や困難の中にある時こそ神様を求める時、自分の成熟へのチャンスであると思った」と語った。

続いて、主婦の安光真実さん（長老教会・おゆみ野キリスト教会員）。安光さんは「主婦が仕事であるという認識は全くなかった。家事は賃金が発生せず社会から評価も受けない。人と比べ『私なんて』と思ってしまう自分が、恥ずかしかった」

だが、コースを受けると「不安は吹き飛んだ」。「主婦業も神様から与えられた尊い仕事だと思えた。『何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい』（コロサイ3・23）の御言葉を思い巡らし、今与えられているコミュニティーで、どう神様と隣人を愛し、仕えられるか考えるようになった。教会で英会話クラス担当になった。主婦の働きの可能性は無限大だと思った」と証しした。【中田 朗】